

あなたの声を 町政に

一般質問

1問1答方式で行いました。

質問時間は1人50分です



芸能祭 神石銭太鼓

問 井関定住団地の販売は

答 LLLPが販売、町は支援



佐伯卓師議員

Q 20年度本格的な事業実施となる、井関定住団地の一番の問題は販売である。景気や社会情勢の変化もあり、当初の販売見とおしは甘いのではないか。

A 町長 販売への取り組みと見とおしは、一番の問題点は販売だと認識している。販売は分譲後の平成23年4月以降となるが、事

前予約も行う。宅建の専門家もいるLLL(有限事業責任組合)に先頭に立ってもらい、町は情報発信などの支援をする。宅地は短期間に売れるとは考えてい

ない。定住促進が目標であり、10年から15年で完売に近い状態に持っていきたい。

Q 上下水道整備地域と未整備地域には、個人負担に大きな差があり格差が生じている。

A 町長 平準化への取り組みは、企業会計は独立採算

が目標であり、経営状況を考え20年度中に検討し見直したい。

Q 現在の公民館は機能していないとの意見が多い。平準化と見直しは。

A 町長 教育長 20年度は中央公民館と、4地区公民館の連絡調整に努め、職員は自治

振興会と連携が取れるよう支所に配置する。

Q 今後の行財政改革は。

A 町長 公債費適正化計画に基づき、3つの過剰である人員・施設・公債費の削減に努め、スリムでスムーズな行政運営を目指す。



3B 体操 (油木芸能発表会)

問 新年度予算の目玉は

答 将来につながる事業の展開

Q 新年度予算の目玉は何か。具体的に。

A 町長 財政再建と町の将来に繋がるものの2本立て。繰上償還と和牛の里事業、農業の規模拡大法人化、ひろしまの森事業など。

Q 制度・組織の見直しは。

A 町長 情勢の変化に対応できる制度にする。スムーズな行政運営が図れるよう、課の統合など行い3つの課題を克服する。事業の清算が遅れるなど住民から不満がある。



木野山孝志 議員

ある。

A 副町長

是正しているが、まだ不十分な点もあり問題を整理し指導する。公民館の分館廃止で、今までの公民館活動は保証できるのか。教育長 地域の公民館活動は

問 神石・三和病院の今後は

答 間違いのない選択を

Q 神石高原町病院機能・あり方検討委員会の最終報告が出された。

町長は、この意見をどう受け止め、最終決断をいつ頃出されるのか。

A 町長 検討委員会の意見を重く受け止め、間違いのない決断をしたい。

Q 町が引き受ける場合は「公設民営が望ましい」と言われている。

その場合、県からの財政支援と人的支援が不可欠である。今後、県との交渉はどのように進めるのか。

A 町長 財政支援の金額は、



松本彰夫 議員

すでに県に示している。人的支援について、公設民営で運営する病院をどこまで支援してもらえるか、事前にしっかりと約束をしたい。

Q 新年度から地域公民館を廃止する方針だが、地域の活動は保証できるのか。

今までも分館として予算化していたので、自治館となっても自治振興会と連携をとりながら予算化し支援する。

Q 地域を守るため、自主防災組織が結成されているが、今後の取り組みは。

A 町長 現在23自治振興会で組織され、組織率は81%である。情報の提供、消防団との連絡調整、研修会の開催など、行政面から対応・支援する。

Q 活動中に事故が発生したときの保障は。

A 総務課長

基本的には町の消防賠償保険の適用だが、良く研究し対応する。

Q C A T V事業への取り組みは町長の政策判断である。早急に決断を。

A 町長 財源や加入率の問題があるが、期限が迫っており、早急に検討し間違いのない選択をしたい。

中央公民館長を配置すると言うことだが、油木公民館長は新年度から、任命できるのか。

A 教育長

公民館活動を平準化するため、公民館4館体制とする。そして自治振興会と連携し、地域の活動を組み組む。そのため、公民館の職員を支所に配置する。

油木公民館の館長は新年度からの任命に努力する。

Q 平準化とは、低い所に合わせるのか。

A 教育長 公民館のない所も自主的に活動されている。自治振興会にも理解してもらっている。



放課後子ども教室 (高蓋)